

## オリジナルの「ことばあそびうた」を作って発表しよう 「じぶんのイメージをはっぴょうしよう」

- 1 日時 平成 29 年 11 月 24 日（金）
- 2 学年 自閉症・情緒障害特別支援学級（第 1 学年 5 名 計 5 名）
- 3 単元について

### 【児童観】

本学級は第 1 学年 5 名の自閉症・情緒障害特別支援学級である。国語科の学習では、リズムに乗って拍子をとったり動作化したりすることを楽しんでいる。しかし、語彙が少なかったり、自分の思いを言葉にして発表したり、イメージを膨らませて表現したりすることは苦手である。

これまでの学習では、5 月に「あいうえおのうた」を学習した上で、「ぼくたちのあいうえおのうた」を作り、廊下に貼ったり参観日に発表したりして表現することを楽しんだ。6 月には「ふたとぶた」を学習した上で、「ことばのへんしん」と題して、濁音・半濁音の言葉遊びを考え、リズムや言葉の面白さを味わった。また、促音・長音を使った言葉遊びでは、友達とペアで考えて作る取り組みも行った。作品にイメージの合う絵を描き添え、より楽しい「ことばあそびうた」を創ってきている。絵を描くのが好きな児童は、絵で表現することができて喜んでおり、出来た作品を廊下に掲示して交流学級の友達や先生方から褒めてもらうことで、もっと作りたいと意欲的に取り組もうとする姿が見えている。

児童の中には、自分の経験したことを思い出しながら言葉のイメージと結びつけて表現できる子もいる。しかし、経験や情報が乏しかったりイメージをもつのが苦手だったりする児童は、なかなか言葉が出て来ないため、話をしながら時間をかけて考えていく必要がある。

個々の児童の実態は、次の通りである。

※児童の実態については省略

## 【単元観】

本単元では、学習指導要領解説国語編第1学年及び第2学年「B書くこと」(1)ア「経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集める。」オ「書いたものを読み合い、良い所を見つけて感想を伝え合う。」ことを中心に、「A話すこと・聞くこと」(1)ウ「姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話す。」オ「互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合う。」をねらいとしている。

単元のゴールとして、「オリジナルのことばあそびうたを作って発表しよう」という言語活動を設定した。擬声語・擬態語などの言葉を集め、そのイメージを言語化して「ことばあそびうた」を作る。そして、作った歌を友達に発表したり、友達の良い所を見つけて感想を伝え合ったりする活動を通して、書く事柄を集める力を身に付けることや、互いの表現を深め合うことを目的としている。

児童は、教科書に示されている「たべもののことばあそびうた」の例文を読み、言葉遊び歌を作るために経験から言葉を集め、自分にしか表現できない「ことばあそびうた」を作っていくことになる。児童のよく知っている「どうぶつ」「のりもの」「がっき」「おもちゃ」などを提示し、自分の興味・関心がもてる内容を中心として作らせていくようにする。その中で、イメージに合った言葉を集めるために、もののイメージを膨らませる活動を設定していきたい。また、言葉の意味の側面だけでなく、リズムや響きなど言葉の音の面白さにも気付かせていくことが大切になる。「ことばあそびうた」を作るための擬声語・擬態語を知っている情報と関連付けたり、イメージを言語化したりすることで生きて働く言葉の力になっていく。また、別のもので同じイメージをもつものを探し出したり、友達と考えを共有したりすることで語彙を豊かにさせていきたい。

また、自分の創作した「ことばあそびうた」を廊下に掲示したり給食放送で発表したりする場を設定すれば、相手意識や目的意識をもって意欲的に取り組むことにつながると考えられる。

## 【育てたい資質・能力】

<b>A児</b>	○語彙を豊かにし、話や文章の中で使える力 ○経験したことから伝えたいことを決め、表現する力 ○自分の考えに自信をもって発表したり、自分から学習したりする態度	(知識・技能) (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)
<b>B児</b>	○語彙数を増やし、はっきりした発音で話す力 ○声の大きさに注意して、はっきりした発音で相手に伝える力 ○友達の話の聞いたり、自分から学習に参加しようとしたりする態度	(知識・技能) (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)
<b>C児</b>	○語彙数を増やし、日常の会話で使える力 ○自分の考えを、自分の言葉で伝える力 ○進んで発表したり、友達の話の聞いたりしようとする態度	(知識・技能) (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)
<b>D児</b>	○友達に伝わるように意識をして話す力 ○根拠を示して説明したり友達の表現の良さに気付いたりする力 ○見通しをもって進んで学習し、友達の話の聞こうとする態度	(知識・技能) (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)
<b>E児</b>	○語彙数を増やし、伝えたいことを文にして話す力 ○自分と友達の表現の違いや良さに気付く力 ○友達の話の聞き、進んで学習しようとする態度	(知識・技能) (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)

## 【指導観】

児童	指導にあたって
A児	○授業の流れをパターン化し、見通しをもって学習が進められるようにする。 ○自信をもって書いたり発表したりできるよう肯定的な声かけをする。
B児	○見通しをもって学習に関われるように授業の流れをパターン化したり、ヒントカードや写真・実物を用意したり、触らせたりする。また、こまめに声かけをする。 ○発表する時の約束を思い出させ、友達の方に体を向けて、大きな声で発表できるようにする。
C児	○授業の流れをパターン化し、見通しをもって学習ができるようにする。写真や絵・実物を用意したり、形や音について考えさせたりする。 ○自信をもって発表できるように、そばで声かけをする。
D児	○見通しをもって自分から進んで活動ができるように、授業の流れをパターン化する。 ○友達が理解できるように、分かりやすい言葉で発表をする。
E児	○見通しをもって自ら活動ができるように、授業の流れをパターン化したり写真や絵・実物を見せたりして想像を膨らませる。 ○聞く時の約束をして、注意して聞けるようにする。

## 4 単元の目標

児童	単元の目標
A児	○友達の話聞き、話題に沿って話し合うことができる。 (話すこと・聞くことオ) ○「ことばあそびうた」を読み合い、よいところを見つけて感想を言うことができる。 (書くことオ)
B児	○姿勢や口形、声の大きさに注意して発表することができる。 (話すこと・聞くことウ) ○学習してきたことを思い出し、ものと音を組み合わせ、 「ことばあそびうた」を作ることができる。 (書くことア)
C児	○声の大きさや、はっきりした発音で発表することができる。 (話すこと・聞くことウ) ○学習してきたことを思い出し、ものの形や音と結び付けて「ことばあそびうた」を作ることができる。 (書くことア)
D児	○友達の話聞き、話題に沿って話し合うことができる。 (話すこと・聞くことオ) ○「ことばあそびうた」を読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うことができる。 (書くことオ)
E児	○友達の話聞き、話題に沿って話し合うことができる。 (話すこと・聞くことオ) ○「ことばあそびうた」を読み合い、よいところを見つけて感想を伝えることができる。 (書くことオ)

## 5 単元の評価規準

児童	関心・意欲・態度	話す・聞く能力 書く能力 読む能力
<b>A児</b>	○進んで「ことばあそびうた」を作ろうとしている。	○作品に理由を付けて発表したり，友達に感想を伝えたりしている。 (話す・聞く) ○自分の経験をもとに，イメージに合った言葉をさがして「ことばあそびうた」を作っている。 (書く)
<b>B児</b>	○「ことばあそびうた」を楽しんでいる。	○友達に聞こえる声で発表し，友達の発表をしっかりと聞いている。 (話す・聞く) ○好きなものと音を結び付けて「ことばあそびうた」を作っている。 (書く)
<b>C児</b>	○もの合う言葉を探している。	○はっきりした声で発表し，友達の発表をしっかりと聞いている。 (話す・聞く) ○知っているものから形や音を想像して「ことばあそびうた」を作っている。 (書く)
<b>D児</b>	○流れを理解し，「ことばあそびうた」を進んで作ろうとしている。	○自分の作品に理由を付けて発表したり，友達に感想を伝えたりしている。 (話す・聞く) ○経験したことや情報をもとに，イメージに合った言葉を探して「ことばあそびうた」を作っている。 (書く)
<b>E児</b>	○興味をもって「ことばあそびうた」を作ろうとしている。	○作品に理由を付けて発表したり，友達に感想を伝えたりしている。 (話す・聞く) ○経験したことや想像したことをもとに，「ことばあそびうた」を作っている。 (書く)

## 6 単元の指導計画（全8時間扱い）

時	学習活動	評価の観点				
		関	話	書	読	評価規準（評価方法）
1	○学習の見通しを立てる。 ・既習の「あひるのあくび」や、自分達が作った言葉遊び歌や知っている言葉遊び歌を出し合ったり、音読したりする。	○				・言葉遊び歌を音読して、言葉遊びの面白さや楽しさを感じながら、進んで活動しようとしている。（発言、行動観察）
2	○教科書の「たべもののことばあそびうた」を読んで面白さを知る。 ・「たべもののうた」を書いた紙を掲示し、当てはまる言葉を考える。 ・自分達も作って発表することを知る。 ・振り返りカードを書く。			◎		・「たべもののことばあそびうた」に出てくる食べ物を、自分のイメージで表現している。 ○ ・自分達と教科書の表現の違い・面白さに気づき、表現読みを楽しんでいる。 (ワークシート、発言、行動観察)
3 4 5 6	○自分のイメージを発表したり、友達の考えを聞いたりする。 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どうぶつ</span> のイメージと他のもののイメージを結びつけて考える。 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">のりもの</span> のイメージと他のもののイメージを結びつけて考える。 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">がっき</span> のイメージと他のもののイメージを結びつけて考える。 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おもちゃ</span> のイメージと他のもののイメージを結びつけて考える。 ・ 振り返りカードを書く。【本時4/4】			◎	○	・提示された題材に、自分がイメージする擬声語や擬態語を音声化したり言語化したりしている。 ・自分が考えた言葉のイメージを、理由を付けて友達に発表している。 ・同じイメージで他のものをさがしている。 (ワークシート、発言、行動観察)
7	○音や様子を表す言葉を集めて、自分の好きな「ことばあそびうた」を作る。 ・たべもの ・どうぶつ ・のりもの ・がっき ・おもちゃ など ・発表し合って、友達の作品の良いところを見つける。 ・振り返りカードを書く。			◎	○	・今まで学習したイメージをもとに、擬声語や擬態語を集めて、自分だけの「ことばあそびうた」をつくっている。 ・作った「ことばあそびうた」を読みあい、友達の良いところを見つけようとしている。 (ワークシート、発言、行動観察)
8	○作った「ことばあそびうた」の読み方を工夫する。				○	・相手を意識して、声の大きさや早さなどを考えている。 (発言、行動観察)

## 7 本時の展開

### (1) 本時の目標

<b>A児</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・テーマについて、自分の経験をもとに考えた言葉のイメージを、理由を付けてみんなに発表することができる。</li><li>・友達の質問に対して、自分のイメージしたものをヒントマットからさがし、理由も考えることができる。</li></ul>
<b>B児</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ヒントカードをもとに、実物に触った感じをイメージして、友達に聞こえるように大きな声で発表することができる。</li><li>・友達の発表を聞いて、自分のイメージしたものをヒントマットからさがすことができる。</li></ul>
<b>C児</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・実物を見たり触ったりした感じをイメージし、友達に聞こえるような声で発表することができる。</li><li>・友達の発表を聞いて、自分のイメージしたものをヒントマットからさがすことができる。</li></ul>
<b>D児</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・経験や情報をもと自分が作った言葉のイメージを、理由を付けて説明することができる。</li><li>・友達の発表を聞いて、自分のイメージした言葉をヒントマットからさがし、理由も考えることができる。</li></ul>
<b>E児</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・テーマについて、自分で想像して作った言葉のイメージを、理由を付けてみんなに発表することができる。</li><li>・友達の発表を聞いて、自分のイメージした言葉をヒントマットからさがし、理由も考えることができる。</li></ul>

### (2) 準備物

- ・ヒントカード
- ・今まで学習してきた物
- ・ワークシート
- ・話型カード
- ・模造紙
- ・マジック
- ・ふりかえりカード
- ・ヒントマット (大・小)